

守山警察署協議会議事録

開催日時	令和6年2月19日（月）午後3時00分～午後5時15分	
開催場所	守山警察署 4階大会議室	
出席者	委員	立入孝次会長、三村益夫副会長、廣實照美委員、松永真平委員、劉穎委員、葭本勝利委員、岩井知子委員、片山礼子委員、
	警察	中山署長、饗庭副署長、宇野調査官（警務課長）、兵庫会計課長、坂崎留置管理課長、林生活安全課長、橋本地域課長、永井交通安全課長、小島警備課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から、「本日は特殊詐欺という議題であるが、新聞でも詐欺の被害が過去最悪であるというセンセーショナルな記事を見掛けた。委員の皆様からはそれぞれの立場で御意見・御提言をいただき、実りある協議会にしたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、「本日の議題は特殊詐欺ということであるが、当署では特殊詐欺の発生状況が増加傾向にあり、何とか減少させていきたいと考えている。委員の皆様には様々なお立場から貴重な御意見をいただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 特殊詐欺等の発生状況と課題、防止対策について</p> <p>警察から、特殊詐欺の発生状況と課題、防止対策について説明がなされた。その際、委員から、「直に詐欺の犯人の音声や対話内容を聞かせていただき、インパクトがあって非常に良かった。実際に高齢者向けの会合や啓発などでこのような犯人の音声を利用してはどうか。」旨の提言がなされ、警察から、「現段階では、チラシ等を活用しての啓発にとどまっているが、今後、実際の音声については積極的に活用していきたいと思っている。」旨の説明がなされた。</p> <p>また、委員から、「闇バイトで若い人が犯罪に加担しているケースがあるが、若い人に対する広報啓発はどのようにしているのか。」「特殊詐欺が増加傾向にある中、犯人を検挙できない要因はどこにあるのか。」「ロマ</p>	

ンス詐欺は、被害者と犯人とがどこで接点を持つのか。」旨の質問がなされ、警察から、「各種防犯教室において、子どもたちが巻き込まれる可能性のある犯罪について説明をしたり、県警のYouTubeで、闇バイトで募集している受け子は犯罪であるということを情報発信している。」、「犯行の拠点がある海外にあるケースが多く、犯罪が組織化、国際化していることが検挙を妨げる要因の一つとして考えられる。」、「SNSを介して接点を持つケースが大半である。」旨の説明がなされた。

(2) 駐在所の合併と河西交番建替えの進捗状況について

ア 駐在所の合併について

警察から、守山署管内の交番・駐在所の統廃合について報告がなされた。

イ 河西交番建替えの進捗状況について

警察から、河西交番建替え工事の現状と運用開始予定時期等について報告がなされた。

4 今後の開催日程について

次回(令和6年度第1回)協議会は、新体制後、日程調整を行うこととした。